

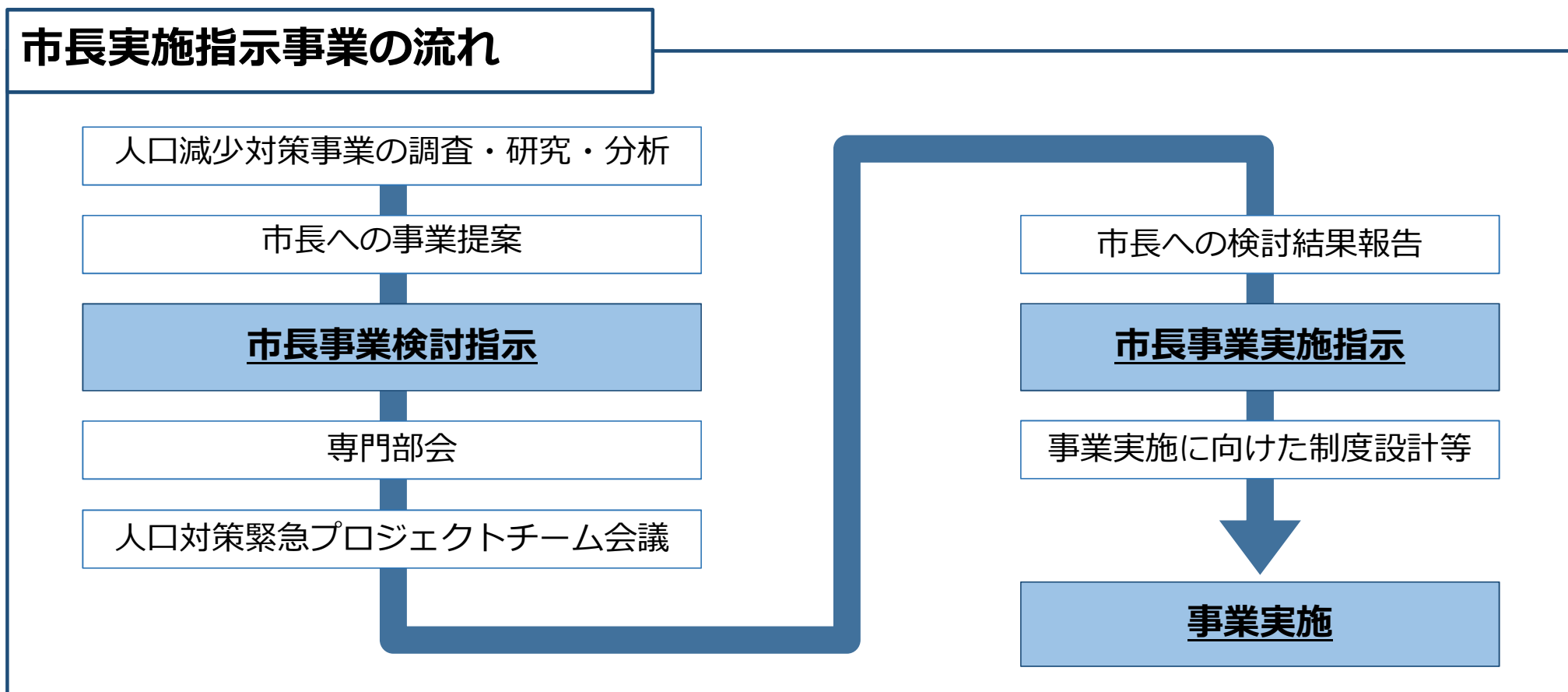
令和元年度  
市長実施指示事業  
(10事業)

令和2年7月  
人口対策課

## 市長実施指示事業の概要・目的

筑西市喫緊の課題である人口減少に対し、調査検討を重ねた対策事業を市長に提案し、市長が実施すべきと判断した事業について、「市長実施指示」として迅速かつ確実に実行し、人口減少に歯止めをかけることを目的としております。

## 市長実施指示事業の流れ



## 令和元年度 市長実施指示事業（10事業） 一覧

事業名	主管課	実施時期
子育て支援・定住促進関係HP充実	広報広聴課	令和2年3月27日から
子育て支援策の見える化	広報広聴課	令和2年3月25日から
行政情報発信アプリ開発事業	広報広聴課	令和2年4月から
ふるさと納税強化対策	企画課	令和元年5月から
市内社員寮入居者の住所異動実態調査・住所異動勧奨	人口対策課	令和元年8月から10月
誕生祝い金 入学祝い品	母子保健課 学務課	誕生：令和2年4月から 入学：令和3年4月入学者から
婚活事業の充実	こども課	令和2年1月
教育のまち推進事業	学務課	令和2年3月25日から
定住住居取得支援事業	企画課	令和3年度から
地域創生学生交流事業	人口対策課	令和2年4月から

## 【結果・成果】各事業概要

子育て支援・定住促進関係HP充実（広報広聴課）

R1事業費：0円

### 筑西市公式ホームページをリニューアル

【リニューアルポイント】

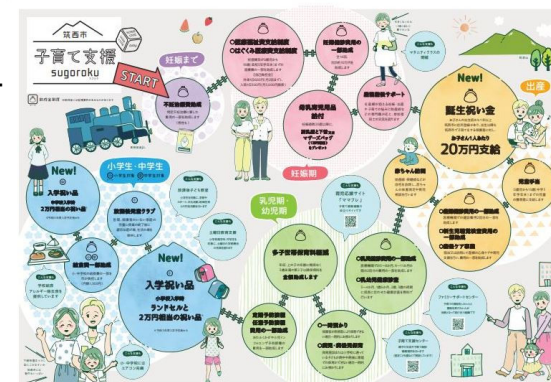
- ① オープニングページの設置によるカテゴリ分別
- ② 子育て情報ページの特化
- ③ 移住・定住応援サイト「ちくせいかつ」へのアクセス向上  
その他数点変更。

子育て支援策の見える化（広報広聴課）

R1事業費：764千円

### 「筑西市子育て支援ガイド」の作成・配布

妊娠・出産から中学校入学までの市の助成制度等を分かりやすいチラシとして作成し、市内全戸、公共施設及び関係機関へ配布  
また、ポスター（B2サイズ）も作成し、公共施設等に掲示



## 【結果・成果】各事業概要

### 行政情報発信アプリ開発事業（広報広聴課）

R1事業費：0円

#### 「筑西市LINE公式アカウント」の運用開始

コミュニケーションアプリ「LINE」を利用して、市の情報を届ける。  
発信内容は、市の事業、観光、イベント、災害等の多岐に渡る。  
※検討段階でアプリ開発に変わり、費用を要せず、多くの利用者がいる「LINE」を活用することになった。  
市からの情報を受け取った人は早く確認できるようになった。



### ふるさと納税強化対策（企画課）

R1事業費：8,069千円

#### ふるさと納税ポータルサイトの追加

- ① 楽天ふるさと納税 ② ANA

#### プレミアム感のある高額返礼品等の追加

- ① 寄付額100万円の「SL貸切」  
② 寄付額3万円と6万円のフルーツ定期便      その他数点  
前年比 84,438千円増（225%増）に繋がった。

## 【結果・成果】各事業概要

市内社員寮入居者の住所異動実態調査・住所異動勧奨（人口対策課）

R1事業費：0円

市内に社宅や社員寮を有する企業へ訪問し、社宅等に入居している又はこれから入居する社員への住民票の異動を勧奨していただくよう、併せてマイナンバーカードの普及も依頼。  
企業へのマイナンバーカード申請出張サービス（市民課）を行い普及に繋がった。

【訪問実績】 43社

誕生祝い金（母子保健課）・入学祝い品（学務課）

R2予算額（誕生）：118,131千円  
（入学）：52,968千円

### 誕生祝い金

令和2年4月1日以降に生まれたお子さんを育てる保護者の方に20万円を支給。

### 入学祝い品

令和3年4月入学の小中学生に入学祝品を支給予定。



## 【結果・成果】各事業概要

### 婚活事業の充実（こども課）

R1事業費：0円

#### 「みんなで話そう！！私たちの未来」開催

○若手市職員対象事業

日時 令和2年1月29日（水）17：30～18：30

場所 スピカ6階コミュニティプラザ

参加者 104名（男：68名、女：36名）

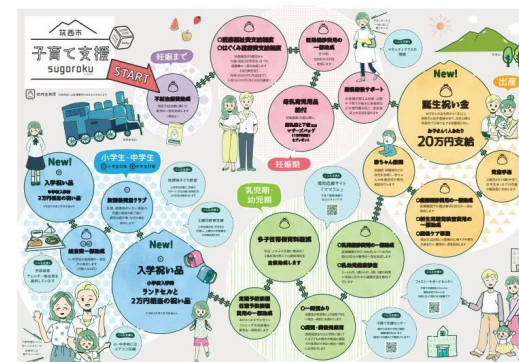
### 教育のまち推進事業（学務課）

R1事業費：0円

#### 「筑西市子育て支援ガイド」の作成・配布

妊娠・出産から中学校入学までの市の助成制度等を分かりやすいチラシとして作成し、市内全戸、公共施設及び関係機関へ配布

※子育て支援策の見える化共同事業



# 【結果・成果】各事業概要

## 定住住居取得支援事業（企画課）

R3予算額：未定

### 制度の見直し（令和3年度から転入者への優遇措置として制度変更予定）

【現行】若者子育て世代…奨励金制度 50万円、多世代同居…奨励金制度 20万円 合計70万円  
 【案】

市内在住者と転入者への補助額の差別化を図り、転入者に優遇した事業に見直しを図る。  
 市内に住宅を取得した市民に、定住の奨励金として基本額を交付する。筑西市へ世帯転入をした市民、更に、多世代同居のために住宅を取得した場合には、それぞれ加算額を上乗せし奨励金を交付する。

## 地域創生学生交流事業（人口対策課）

R2予算額：527千円

### 「ちくせい若者まちづくり会議」の開催

筑西市の地域活性化など、若者による地域づくりを進める。  
 学生の自由なアイデアを、地域と連携し実行。

【メンバー】茨城大学生等 35名

【活動】第1回会議 令和2年10月3日（土）開催予定

